

令和2年度
第1回 都島区民アンケート結果

(都島区の魅力、区民まつり、地域コミュニティ、子育て支援、地域福祉)

令和3年4月

大阪市都島区役所

目次

1. 調査の概要	
1-1. 調査目的	1
1-2. 調査方法	1
1-3. 調査内容	1
1-4. 配布・回収結果	2
1-5. 調査結果の見方	2
1-6. 標本誤差	2
1-7. 母集団の代表性	3
2. アンケートの結果（ダイジェスト）	4
3. アンケートの結果	
3-1. 都島区の魅力について	
1. 住まいの地域への愛着・親しみの意識	6
2. 愛着や親しみを感じる点	7
3. 愛着や親しみを感じない点	8
4. 桜ノ宮ビーチの認知度	9
3-2. 区民まつりについて	
5. 都島区民まつりへの参加の有無	10
6. 区民まつりで住民どうしの交流が深まるかの意識	11
3-3. 地域コミュニティについて	
7. 「声かけ」、「見守り」、「助け合い」、「支え合い」が行われているかの意識	12
8. 「地域活動協議会」や「まちづくり協議会」の認知度	13
9. 「地域活動協議会」や「まちづくり協議会」が自律的に進められているかの意識	14
3-4. 子育て支援について	
10. 子育てに不安を感じた時の相談先	15
11. 子育て支援室の認知度	16
12. 子育て支援施設の認知度	17
3-5. 地域福祉について	
13. 身近な福祉サービス（事業）の認知度	18
14. 民生委員等の見守りで高齢者等が安心して暮らし続けることができるかの意識	24
15. 大阪市や都島区の福祉の取り組みで特に取り組むべきもの	25
3-6. 自由意見	26

1. 調査の概要

1-1. 調査目的

都島区役所では、取組の成果を定期的にチェックするため、幅広い区民の皆様の評価やご意見をお聞きしています。

今回のテーマは、「都島区の魅力」、「区民まつり」、「地域コミュニティ」、「子育て支援」、「地域福祉」です。

1-2. 調査方法

調査区域：都島区全域

調査対象：住民基本台帳および外国人登録から無作為抽出をした都島区民 1,500 人

回答者数：645 人

回答率：43.0%

調査時期：令和2年12月

調査方法：郵送による配布・回収及び大阪市行政オンラインシステムによるアンケート

1-3. 調査内容

アンケート調査の内容は、以下のとおりです。

■アンケート調査の項目

<p>1. 都島区の魅力について</p> <p>問1 住まいの地域への愛着・親しみの意識</p> <p>問2 愛着や親しみを感じる点</p> <p>問3 愛着や親しみを感じない点</p> <p>問4 桜ノ宮ビーチの認知度</p> <p>2. 区民まつりについて</p> <p>問5 都島区民まつりへの参加の有無</p> <p>問6 区民まつりで住民どうしの交流が深まるかの意識</p> <p>3. 地域コミュニティについて</p> <p>問7 「声かけ」、「見守り」、「助け合い」、「支え合い」が行われているかの意識</p> <p>問8 「地域活動協議会」や「まちづくり協議会」の認知度</p> <p>問9 「地域活動協議会」や「まちづくり協議会」が自律的に進められているかの意識</p>	<p>4. 子育て支援について</p> <p>問10 子育てに不安を感じた時の相談先</p> <p>問11 子育て支援室の認知度</p> <p>問12 子育て支援施設の認知度</p> <p>5. 地域福祉について</p> <p>問13 身近な福祉サービス（事業）の認知度</p> <p>問14 民生委員等の見守りで高齢者等が安心して暮らし続けることができるかの意識</p> <p>問15 大阪市や都島区の福祉の取り組みで特に取り組むべきもの</p> <p>問16 区政についての意見・感想（自由意見）</p> <p>6. 属性</p> <p>A. 性別</p> <p>B. 年齢</p> <p>C. お住まいの地域</p> <p>D. 居住年数</p> <p>E. 高校生以下の子どもの子育て有無</p>
--	--

1-4. 配布・回収結果

配布・回収結果を示したものが下表です。

■配布・回収結果

		アンケート送付数			回答者数					回答率
		男性	女性	合計	男性	女性	その他・回答しない	無回答	総計	
年代	20代以下	110	129	239	28	44	0	0	72	30.1
	30代	113	109	222	23	68	0	0	91	41.0
	40代	135	154	289	31	74	1	0	106	36.7
	50代	122	106	228	37	68	2	0	107	46.9
	60代	91	102	193	39	58	1	0	98	50.8
	70代以上	130	199	329	57	91	2	2	152	46.2
	無回答	-	-	-	1	1	2	15	19	-
合計		701	799	1,500	216	404	8	17	645	43.0

1-5. 調査結果の見方

- ・回答結果の割合「%」は、小数点以下第1位を四捨五入したものです。このため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ形式）の場合、回答は選択肢の有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- ・図表中の「無回答」とは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- ・図表中の「n」（サンプル数）は有効標本数（集計対象者総数）、あるいは分類別の該当対象者数を示しています。

1-6. 標本誤差

(1) 信頼区間

今回の調査は標本調査ですので、標本による測定値（調査の結果）に基づいて、母集団値を推定できます。信頼度95%で推定した場合の信頼区間1/2幅（標本誤差）は、次の式で算出されます。

$$\text{標本誤差} = 1.96 \times \sqrt{\frac{P \times (1-P)}{n}}$$

■性別・年代別 回答比率ごとの標本誤差

(単位：%)

	回答者数(n)	回答比率(P)									
		5%	10%	15%	20%	25%	30%	35%	40%	45%	50%
全体	645	1.7	2.3	2.8	3.1	3.3	3.5	3.7	3.8	3.8	3.9
男性	216	2.9	4.0	4.8	5.3	5.8	6.1	6.4	6.5	6.6	6.7
女性	404	2.1	2.9	3.5	3.9	4.2	4.5	4.7	4.8	4.9	4.9
20代以下	72	5.0	6.9	8.2	9.2	10.0	10.6	11.0	11.3	11.5	11.5
30代	91	4.5	6.2	7.3	8.2	8.9	9.4	9.8	10.1	10.2	10.3
40代	106	4.1	5.7	6.8	7.6	8.2	8.7	9.1	9.3	9.5	9.5
50代	107	4.1	5.7	6.8	7.6	8.2	8.7	9.0	9.3	9.4	9.5
60代	98	4.3	5.9	7.1	7.9	8.6	9.1	9.4	9.7	9.8	9.9
70代以上	152	3.5	4.8	5.7	6.4	6.9	7.3	7.6	7.8	7.9	7.9

例えば、問1の「住まいの地域への愛着・親しみの意識」の結果を見ると、『肯定的意見の割合』（「感じる」＋「やや感じる」）は男性91%で、ここから導き出される標本誤差の数値は、表にある最も近い値(90%)の『男性』の標本誤差の数値「4.0%」です。

つまり、母集団を対象にこの調査を行なったところ、「肯定的意見の割合」の男性が91%の前後4.0%の区間内、すなわち87.0%-95.0%の区間内にあることが95%の確率で期待されるということを意味しています。

1-7. 母集団の代表性

(1) 母集団の男女間・各年齢区分間の割合と比べた回答率の偏り

母集団の男女間・各年齢区分間の割合と比べた回答率の偏りをみる数値(P値)を、分散分析によって算出し、有意水準5%で検証しています。

有意水準=偏りがあるかどうかを決める基準となる確率のことで事前に設定します。

(今回は有意水準を5%で設定しています。)

※P値が有意水準5%以上であれば、回答率に偏りがあるとは言えないと判断します。

※P値が有意水準5%未満であれば、回答率に偏りがあると判断します。

■母集団の大きさ (N)

(単位：人)

	18歳～29歳	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
男性	7,124	7,238	8,144	6,710	5,881	8,025	43,122
女性	7,516	7,453	8,231	7,064	6,233	11,347	47,844

■有効回答者数 (n)

(単位：人)

	18歳～29歳	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
男性	28	23	31	37	39	53	211
女性	44	68	74	68	58	91	403

■有効回答者数の母集団の大きさに対する割合 (n/N)

(単位：%)

	18歳～29歳	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
男性	0.39	0.32	0.38	0.55	0.66	0.66	0.49
女性	0.59	0.91	0.90	0.96	0.93	0.80	0.84

■回答率の偏りを見る数値 (P値)

男女間におけるP値	3%
各年齢区分間におけるP値	3%

男女間の値3%：P値が有意水準5%未満なので、回答率に偏りがあると判断します。

各年齢区分間のP値3%：P値が有意水準5%未満なので、回答率に偏りがあると判断します。

2. アンケートの結果（ダイジェスト）

2-1. 都島区の魅力について（問1～問4）

- ・魅力を“感じる”（「感じる」＋「やや感じる」）人の割合は91%で9割以上となっており、昨年度調査とほぼ同率となっています。
- ・また感じる点については、「交通アクセスが良い」（78%）が最も高く、逆に感じない点については、「地域活動や住民どうしのつながりがあまりない」（51%）が最も高くなっています。
- ・「桜ノ宮ビーチ」については、「知らない」が24%と約1／4となっています。

2-2. 区民まつりについて（問5、問6）

- ・区民まつりへの参加については、「ある」（50%）と「ない」（50%）が半々で、「ある」人のうち63%が交流が深まる（「感じる」＋「やや感じる」）と感じています。

2-3. 地域コミュニティについて（問7～問9）

- ・地域コミュニティ活動が行われているかについては、“感じない”（「あまり感じない」＋「感じない」）が53%で半数以上が感じていない結果となっています。
- ・「地域活動協議会」や「まちづくり協議会」については、「知っている」が32%と3割強にとどまっています。
- ・また知っている人のうちこれらの活動が自律的に行われているかについては、“思わない”（「あまりそう思わない」＋「思わない」）が32%と3割以上となっています。

2-4. 子育て支援について（問10～問12）

- ・子育てに不安を感じた時の相談先としては、「配偶者・パートナー」（58%）、「その他の親族（親、兄弟姉妹など）」（49%）、「友人」（46%）が上位3位を占めています。
- ・子育て支援室の認知については、「知らない」（40%）が約4割となっています。
- ・また区内にいくつかある子育て支援施設の認知については、「都島区子ども・子育てプラザ」（68%）、「子育て支援センターのびのび」（42%）、「フレンドリーともぶち」（40%）などの順となっています。

2-5. 地域福祉について（問13～問15）

- ・身近な福祉サービス（事業）の認知度については、「知らない」がそれぞれ①民生委員・児童委員・主任児童委員が30%、②地域福祉コーディネーターが67%、③見守り相談室が70%、④地域包括支援センター総合相談窓口（ランチ）が59%、⑤都島オレンジチーム（認知症初期集中支援チーム）が80%、⑥障がい者基幹相談支援センターが78%とほとんどのサービスが半数を超えています。
- ・民生委員等の地域見守り活動で高齢者等が安心して暮らし続けることができるかについては、“感じる”（「感じる」＋「やや感じる」）が49%と5割弱となっています。
- ・福祉の取り組みで今後特に取り組むべきことについては、「高齢者や障がいのある人が安心して暮らせる在宅福祉」（57%）、「防災や防犯対策の充実」（52%）、「ひとり暮らし高齢者などの孤独死対策」（48%）が上位3位を占めています。

2-6. 自由意見について（問16）

自由意見については、合計126件のご意見をいただきました。
その内容は以下の通りとなります。

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| ①子育て・教育関係について(12件) | ⑧住環境・市街地環境について(20件) |
| ②生活支援・福祉について(9件) | ⑨市政・区政について(15件) |
| ③地域活動・地域コミュニティについて(14件) | ⑩職員・窓口対応について(6件) |
| ④自転車・喫煙・マナー等について(7件) | ⑪広報について(9件) |
| ⑤防災・防犯について(6件) | ⑫アンケートについて(3件) |
| ⑥施設や公園の整備・利用について(11件) | ⑬その他(11件) |
| ⑦鉄道・地下鉄・バスについて(3件) | |

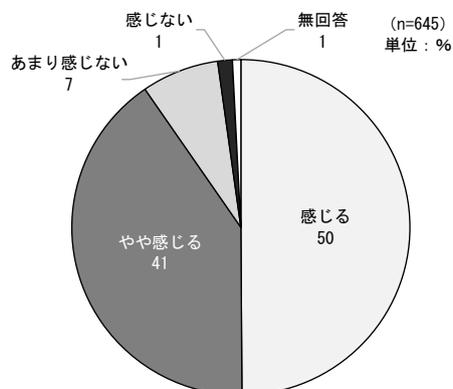
なかでも、⑧住環境・市街地環境について、⑨市政・区政について、③地域活動・地域コミュニティについてはご意見数の多い上位3位となっており、自分達の住んでいるまちの住環境、そこでの地域住民活動、そして、それに関連する行政への意見といったことが区民の上位の関心事となっています。

3. アンケートの結果

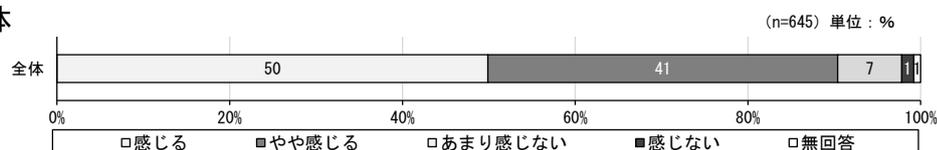
3-1. 都島区の魅力について

問1 都島区やお住まいの地域に愛着や親しみを感じますか。（1つだけ選んでください）

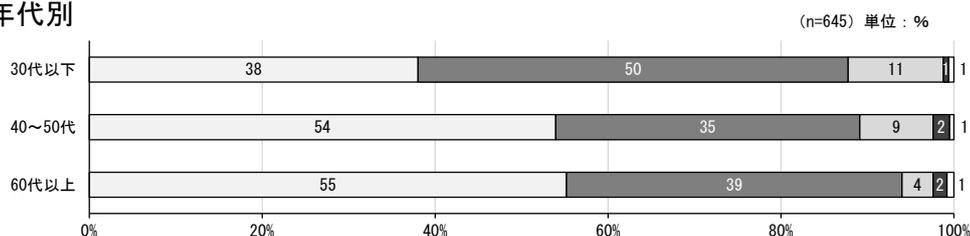
●住まいの地域への愛着・親しみの意識（単数回答）



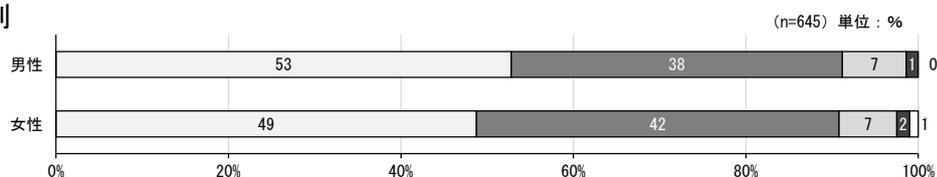
■全体



■年代別



■性別



「感じる」「やや感じる」の割合は約9割

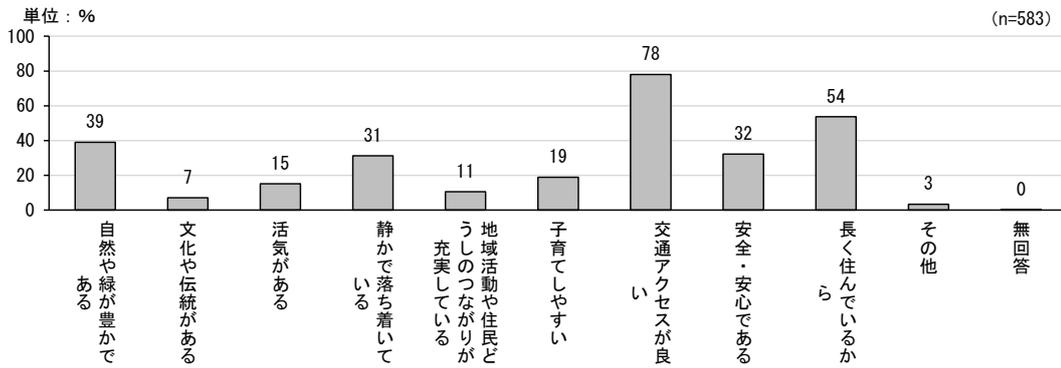
- ・住まいの地域への愛着・親しみの意識についてみると、“感じる”（「感じる」＋「やや感じる」）が91%と9割以上となっており、昨年度調査とほぼ同率となっている。
- ・年代別にみると、『60代以上』の“感じる”（「感じる」＋「やや感じる」）が94%と他の年代と比べて最も高くなっている。
- ・性別にみると、『男性』の“感じる”（「感じる」＋「やや感じる」）が91%、『女性』の“感じる”（「感じる」＋「やや感じる」）が91%とどちらも9割を超えている。

問1で「感じる」「やや感じる」と回答された方におたずねします。

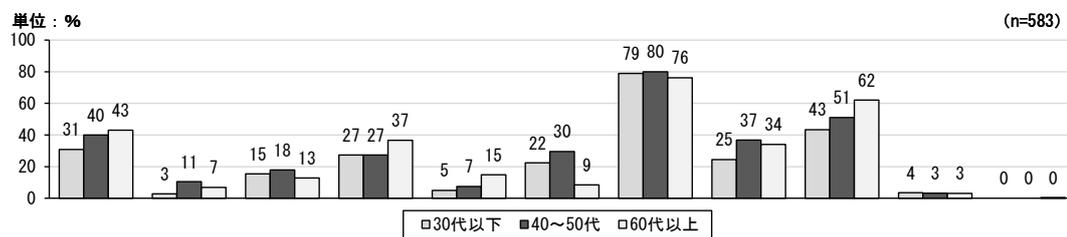
問2 愛着や親しみを感じるのはどのような点ですか。(いくつでも選んでください)

●愛着や親しみを感じる点（複数回答）

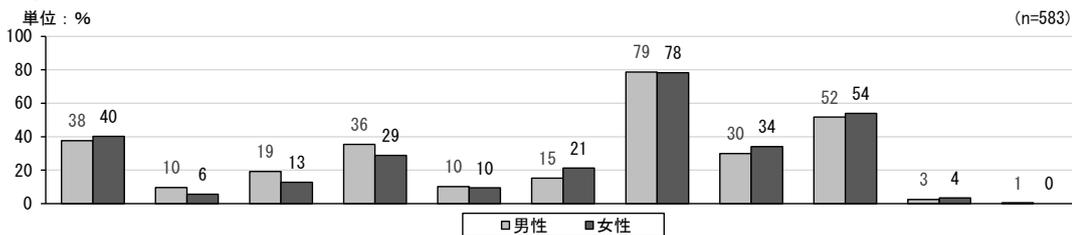
■全体



■年代別



■性別



「交通アクセスが良い」の割合が最も高く約8割

- ・愛着や親しみを感じる点についてみると、「交通アクセスが良い」が78%と最も高く、次いで「長く住んでいるから」が54%、「自然や緑が豊かである」が39%の順となっている。
- ・年代別にみると、全ての年代において「交通アクセスが良い」が最も高くなっている。
- ・性別にみると、『男性』の「交通アクセスが良い」が79%、『女性』のそれが78%でいずれも約8割弱となっている。

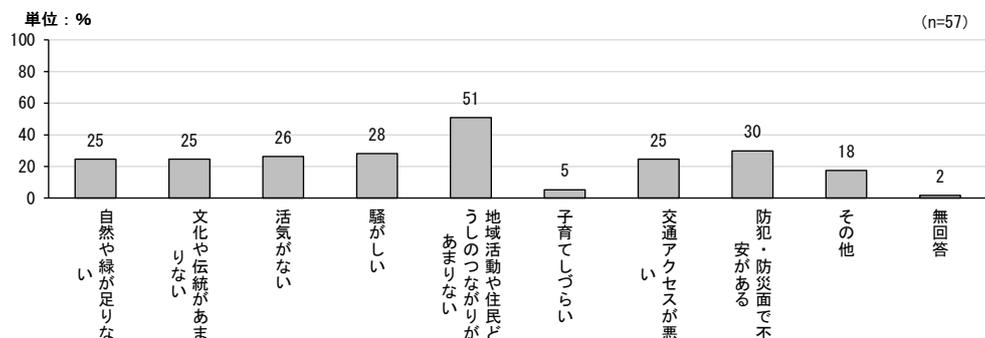
問1で「あまり感じない」「感じない」と回答された方へおたずねします。

問3 愛着や親しみを感じないのはどのような点ですか。

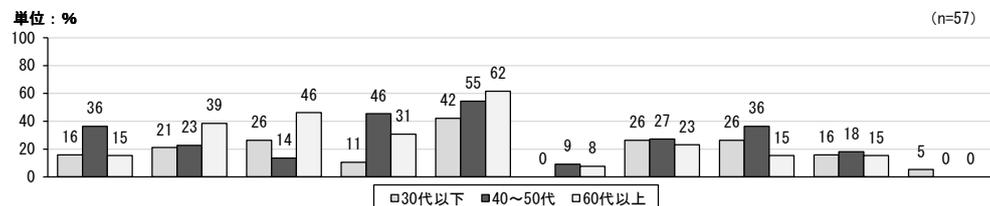
(いくつでも選んでください)

●愛着や親しみを感じない点（複数回答）

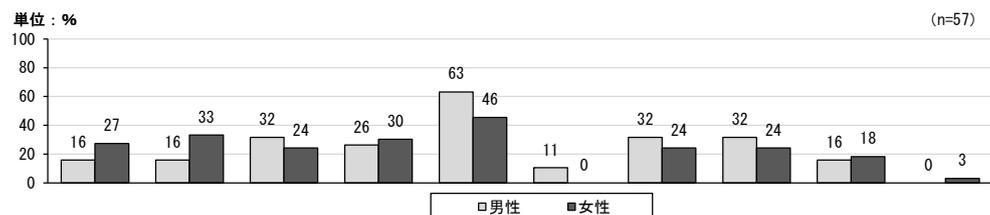
■全体



■年代別



■性別

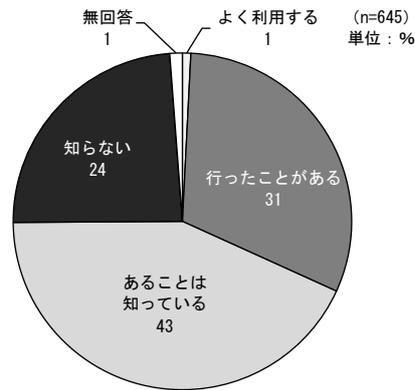


「地域活動や住民どうしのつながりがあまりない」の割合が最も高く約5割

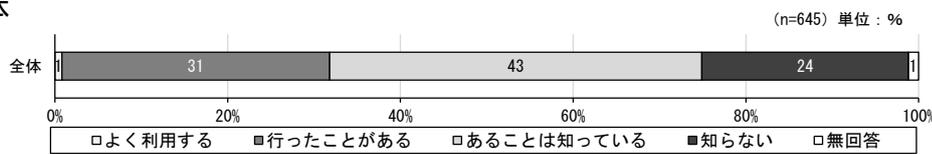
- ・愛着や親しみを感じない点についてみると、「地域活動や住民どうしのつながりがあまりない」が51%と最も高く、次いで「防犯・防災面で不安がある」が30%、「騒がしい」が28%の順となっている。
- ・年代別にみると、全ての年代において「地域活動や住民どうしのつながりがあまりない」が最も高くなっている。
- ・性別にみると、『男性』『女性』とも「地域活動や住民どうしのつながりがあまりない」がそれぞれ63%、46%と最も高くなっている。

問4 平成23年に毛馬桜之宮公園内に整備された人工砂浜「桜ノ宮ビーチ」をご存じですか？（1つだけ選んでください）

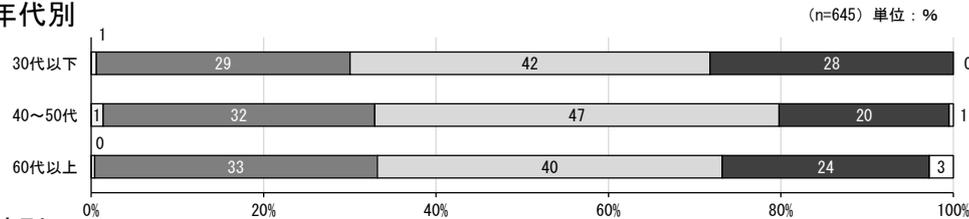
●桜ノ宮ビーチの認知度（単数回答）



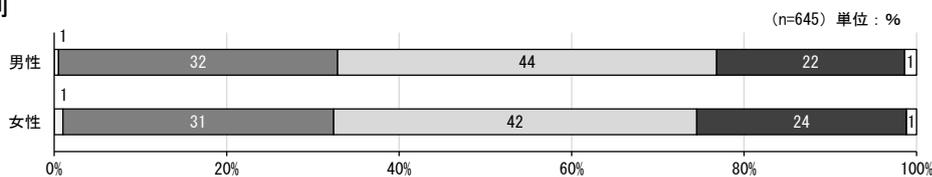
■全体



■年代別



■性別



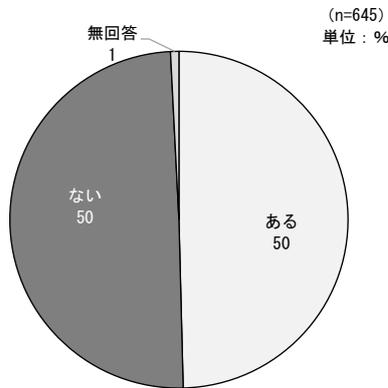
「よく利用する」「行ったことがある」「あることは知っている」の割合は7割半

- ・桜ノ宮ビーチの認知度についてみると、「よく利用する」+「行ったことがある」+「あることは知っている」が75%と7割以上となっている。
- ・年代別にみると、『40～50代』の「あることは知っている」が47%と他の年代と比べて最も高くなっている。
- ・性別にみると、『男性』『女性』とも「あることは知っている」がそれぞれ44%、42%と最も高くなっている。

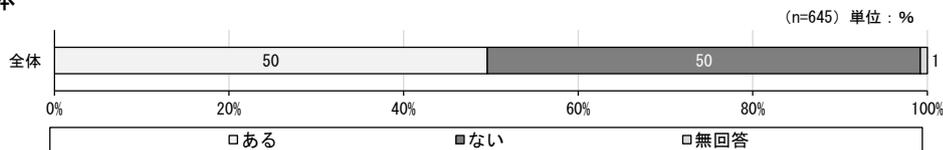
3-2. 区民まつりについて

問5 今までに1回でも都島区民まつりに参加したことはありますか。(1つだけ選んでください) (※来場、出演・出展など全て含む)

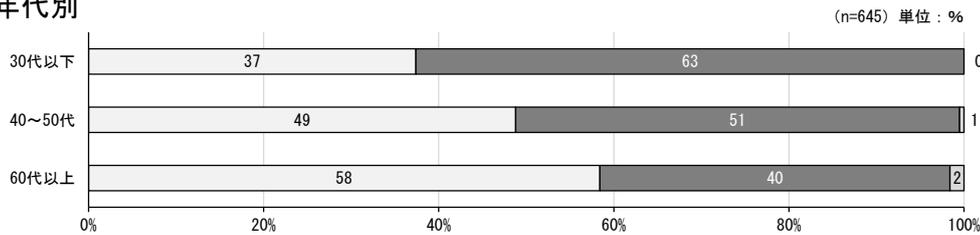
●都島区民まつりへの参加の有無 (単数回答)



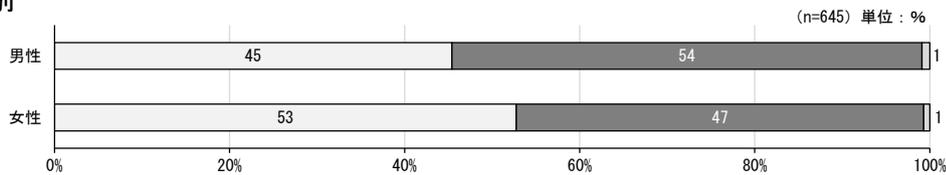
■全体



■年代別



■性別



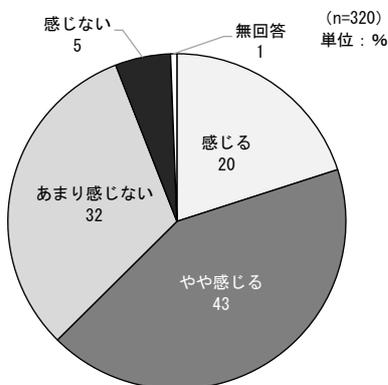
「ある」「ない」の割合はいずれも約半数

- ・都島区民まつりへの参加の有無についてみると、「ある」「ない」がいずれも50%と同率になっている。
- ・年代別にみると、『60代以上』の「ある」が58%と他の年代と比べて最も高くなっている。
- ・性別にみると、『男性』では「ない」が54%、『女性』では「ある」が53%と反対となっている。

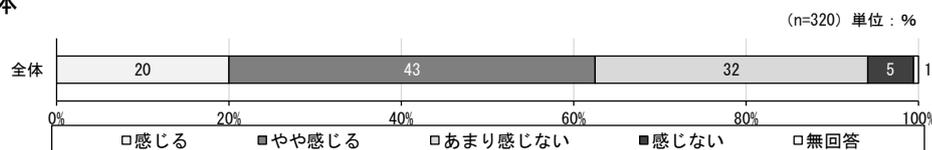
問5で「ある」と回答された方におたずねします。

問6 区民まつりの開催によって、住民どうしの交流が深まると感じますか。（区民まつりは、区民等が企画、運営、広報などを主体的に行うことで、人材育成、交流促進、コミュニティ育成につなげることを目的としています。）（1つだけ選んでください）

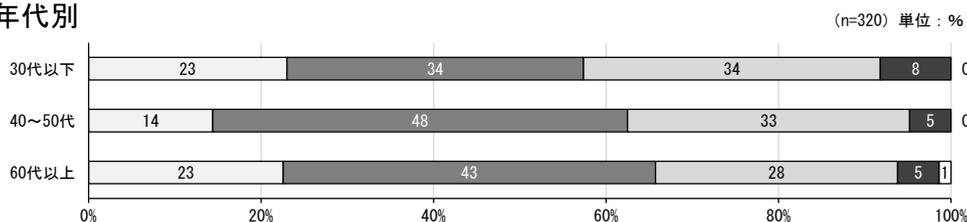
●区民まつりで住民どうしの交流が深まるかの意識（単数回答）



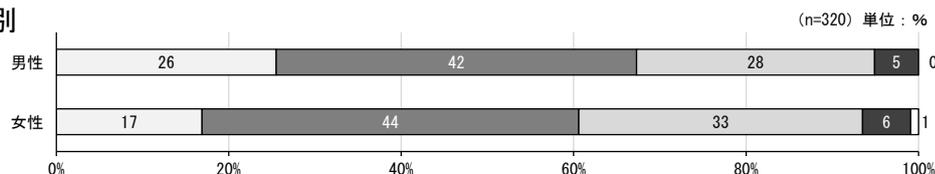
■全体



■年代別



■性別



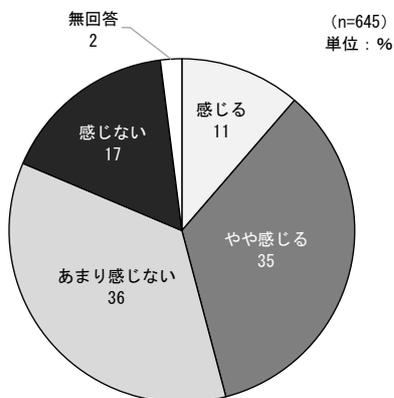
「感じる」「やや感じる」の割合は約6割

- ・区民まつりで住民どうしの交流が深まるかの意識についてみると、“感じる”（「感じる」＋「やや感じる」）が63%と6割以上となっている。
- ・年代別にみると、『60代以上』の“感じる”（「感じる」＋「やや感じる」）が66%と他の年代と比べて最も高くなっている。
- ・性別にみると、『男性』の“感じる”（「感じる」＋「やや感じる」）が68%と『女性』の61%より7ポイント高くなっている。

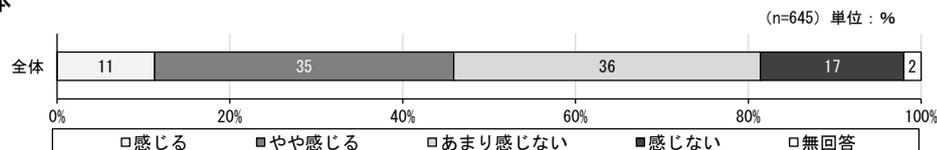
3-3. 地域コミュニティについて

問7 お住まいの地域では、日頃から、ご近所どうしで「声かけ」, 「見守り」, 「助け合い」, 「支え合い」が行われていると感じますか。
(1つだけ選んでください)

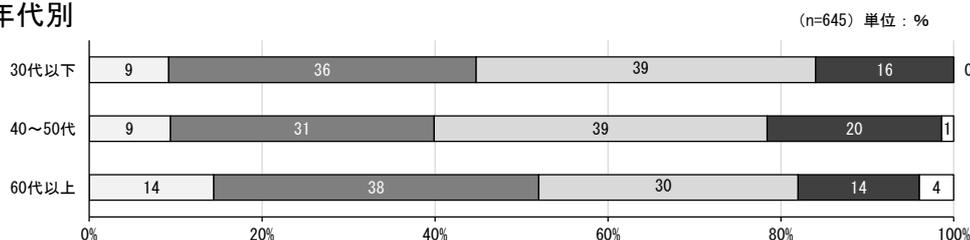
- 「声かけ」, 「見守り」, 「助け合い」, 「支え合い」が行われているかの意識 (単数回答)



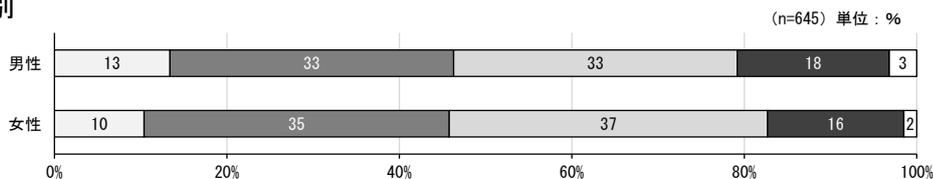
■ 全体



■ 年代別



■ 性別

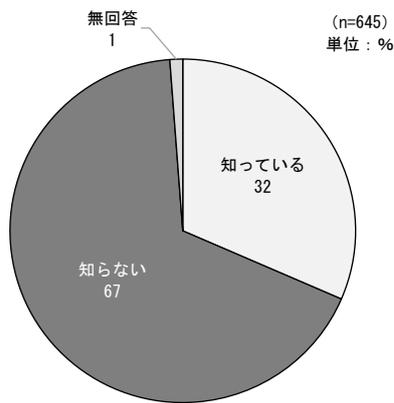


「あまり感じない」「感じない」の割合は約半数

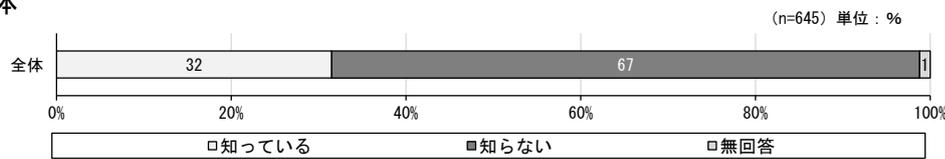
- ・ 「声かけ」, 「見守り」, 「助け合い」, 「支え合い」が行われているかの意識についてみると、「感じない」(「あまり感じない」+「感じない」)が53%と半数以上となっている。
- ・ 年代別にみると、『40~50代』で「感じない」(「あまり感じない」+「感じない」)が59%と他の年代と比べて最も高くなっている。
- ・ 性別にみると、『男性』『女性』とも「感じない」(「あまり感じない」+「感じない」)がそれぞれ51%、53%と高くなっている。

問8 「地域活動協議会」や「まちづくり協議会」を知っていますか。（1つだけ選んでください）

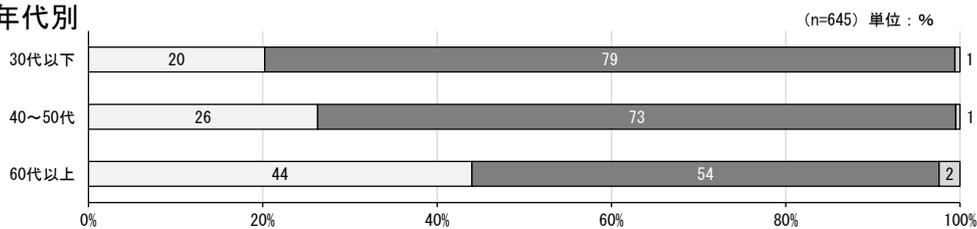
● 「地域活動協議会」や「まちづくり協議会」の認知度（単数回答）



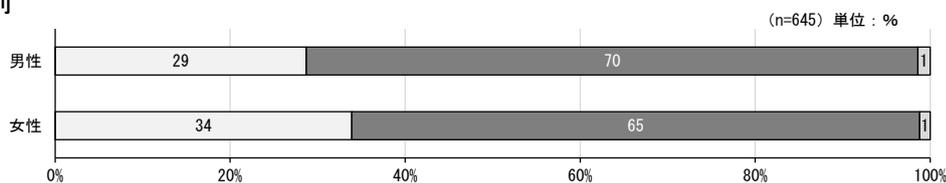
■ 全体



■ 年代別



■ 性別



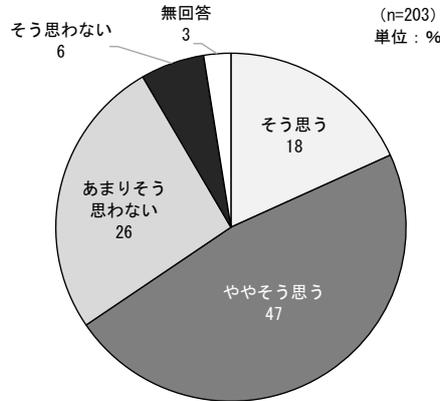
「知らない」の割合は約7割

- ・ 「地域活動協議会」や「まちづくり協議会」の認知度についてみると、「知らない」が67%、「知っている」が32%と「知らない」が約2倍となっている。
- ・ 年代別にみると、『30代以下』の「知らない」が79%と他の年代と比べて最も高くなっている。
- ・ 性別にみると、『男性』の「知らない」が70%、『女性』のそれが65%と『男性』の方が5ポイント高くなっている。

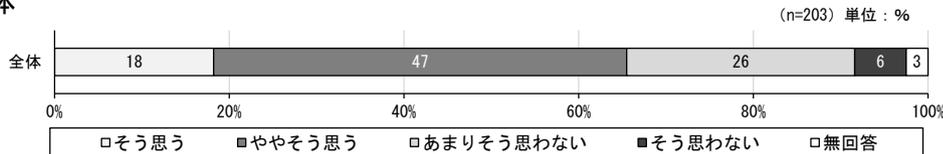
問8で「知っている」と回答された方におたずねします。

問9 「地域活動協議会」や「まちづくり協議会」が、地域特性に即した地域課題の解決に向けた取り組みについて、自律的に進められている状態にあると思いますか。（1つだけ選んでください）

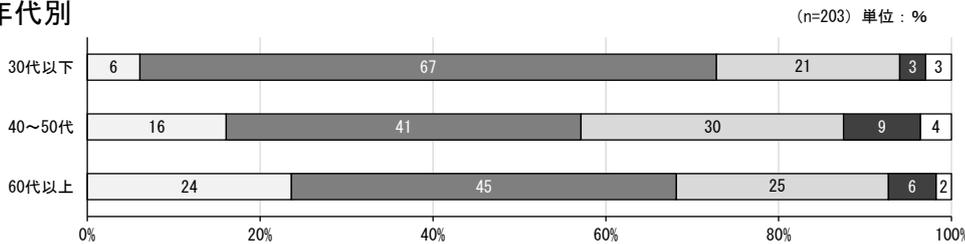
● 「地域活動協議会」や「まちづくり協議会」が自律的に進められているかの意識（単数回答）



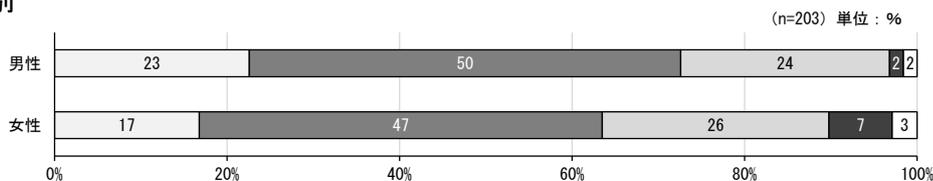
■ 全体



■ 年代別



■ 性別



「そう思う」「ややそう思う」の割合は6割半

- ・ 「地域活動協議会」や「まちづくり協議会」が自律的に進められているかの意識についてみると、“そう思う”（「そう思う」＋「ややそう思う」）が65%と6割以上となっている。
- ・ 年代別にみると、『30代以下』の“そう思う”（「そう思う」＋「ややそう思う」）が73%と他の年代と比べて最も高くなっている。
- ・ 性別にみると、『男性』の“そう思う”（「そう思う」＋「ややそう思う」）が73%と『女性』の64%より9ポイント高くなっている。

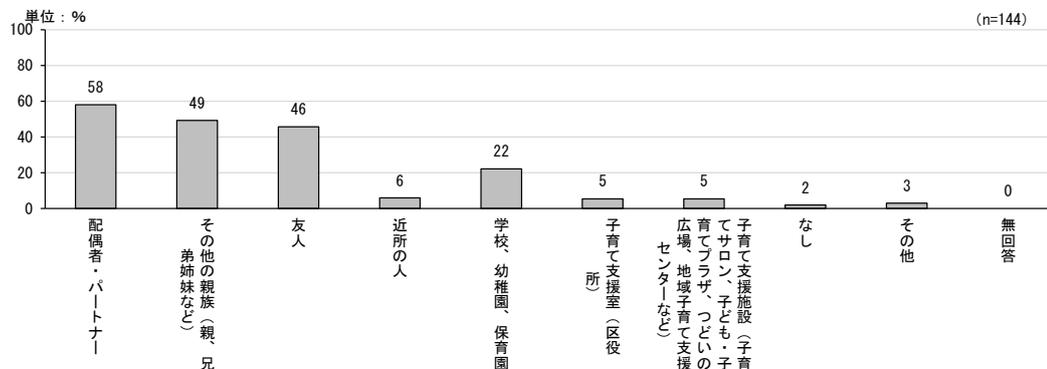
3-4. 子育て支援について

※問10～問12は0歳～18歳までのお子さまの子育てをされている方におたずねします。

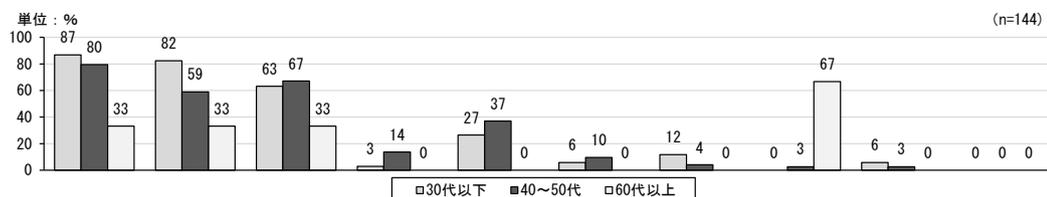
問10 子育てに不安を感じたときに誰に（どこに）相談しますか。（いくつでも選んでください）

●子育てに不安を感じた時の相談先（複数回答）

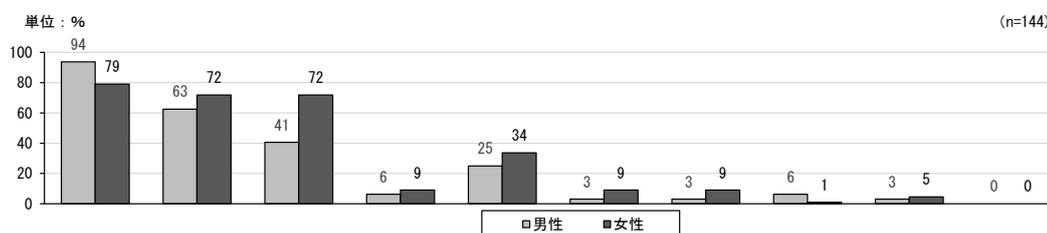
■全体



■年代別



■性別

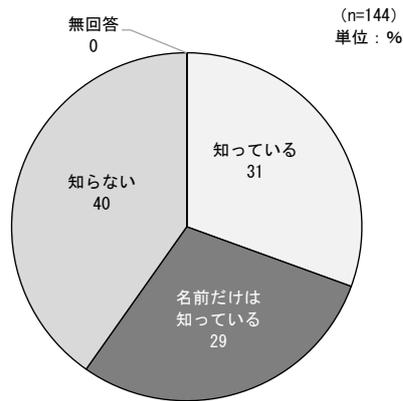


「配偶者・パートナー」の割合が最も高く約6割

- ・子育てに不安を感じた時の相談先についてみると、「配偶者・パートナー」が58%と最も高く、次いで「その他の親族」が49%、「友人」が46%の順となっている。
- ・年代別にみると、『30代以下』『40～50代』とも「配偶者・パートナー」がそれぞれ87%、80%と最も高くなっている。
- ・性別にみると、『男性』『女性』とも「配偶者・パートナー」がそれぞれ94%、79%と最も高くなっている。

問11 子どもの心身の発達・不登校など、子育てに関するさまざまな相談に応じる子育て支援室をご存じですか。（1つだけ選んでください）

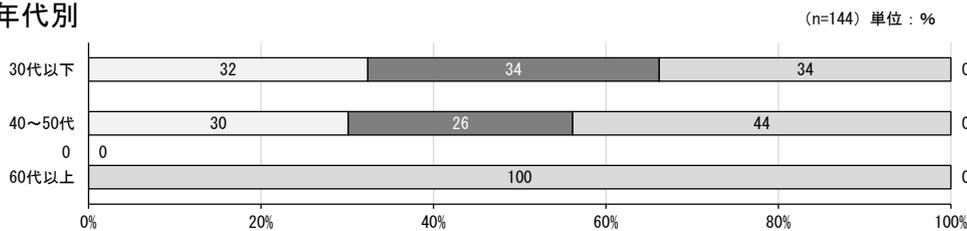
●子育て支援室の認知度（単数回答）



■全体



■年代別



■性別



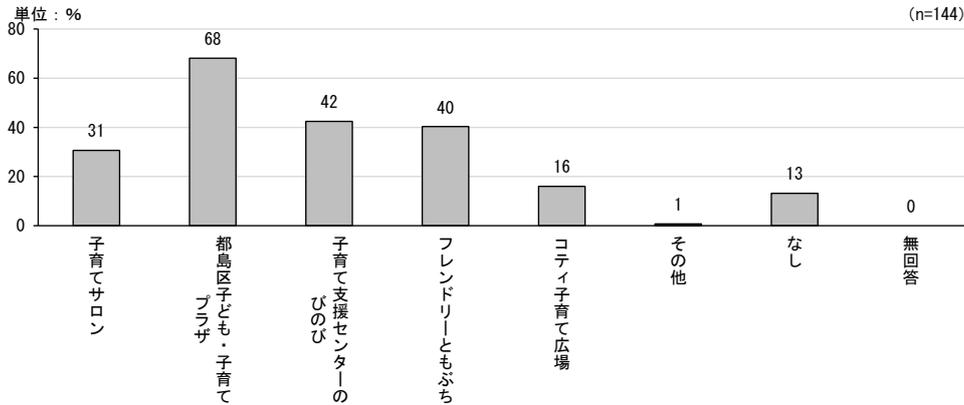
「知っている」「名前だけは知っている」の割合は約6割

- ・子育て支援室の認知度についてみると、“知っている”（「知っている」＋「名前だけは知っている」）が60%と約6割となっている。
- ・年代別にみると、『30代以下』の“知っている”（「知っている」＋「名前だけは知っている」）が66%と他の年代と比べて最も高くなっている。
- ・性別にみると、『女性』の“知っている”（「知っている」＋「名前だけは知っている」）が63%と『男性』の53%より10ポイント高くなっている。

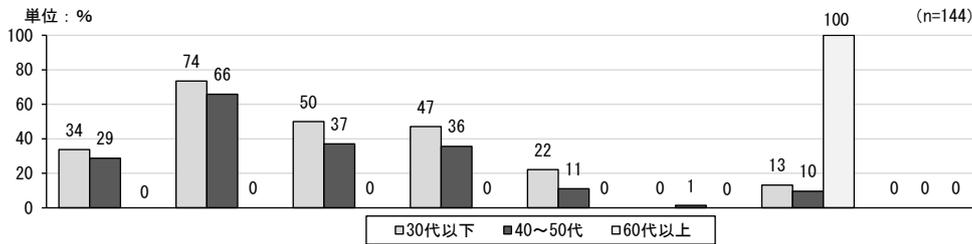
問12 乳幼児期の親子や就学期の子どもの交流の場所として、次の子育て支援施設をご存じですか。（いくつでも選んでください）

●子育て支援施設の認知度（複数回答）

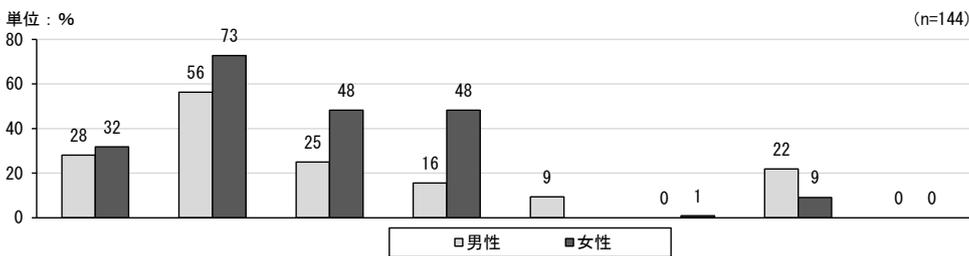
■全体



■年代別



■性別



「都島区子ども・子育てプラザ」の割合が最も高く約7割

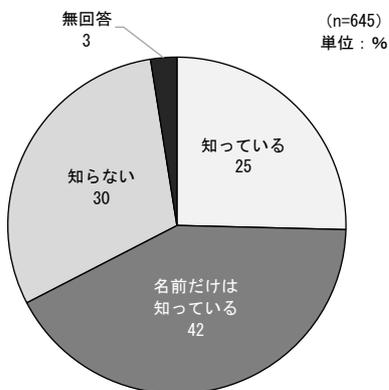
- ・子育て支援施設の認知度についてみると、「都島区子ども・子育てプラザ」が68%と最も高く、次いで「子育て支援センターのびのび」が42%、「フレンドリーともぶち」が40%の順となっている。
- ・年代別にみると、『30代以下』では「都島区子ども・子育てプラザ」が74%、『40~50代』では「都島区子ども・子育てプラザ」が66%とそれぞれ最も高くなっている。
- ・性別にみると、『男性』『女性』とも「都島区子ども・子育てプラザ」がそれぞれ56%、73%と最も高くなっている。

3-5. 地域福祉について

問13 下記の身近な福祉サービス（事業）を知っていますか。それぞれあてはまる数字をまる（○）で囲んでください。

●身近な福祉サービス（事業）の認知度（単数回答）

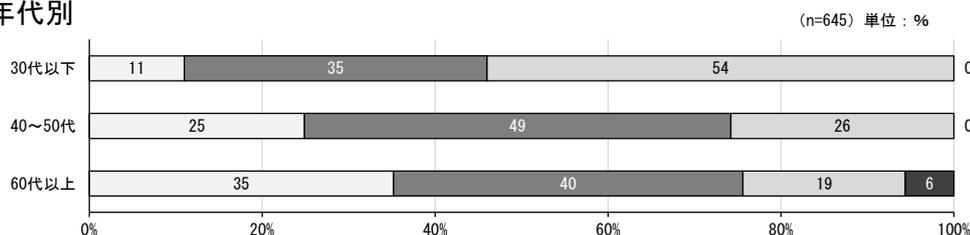
1. 民生委員・児童委員・主任児童委員



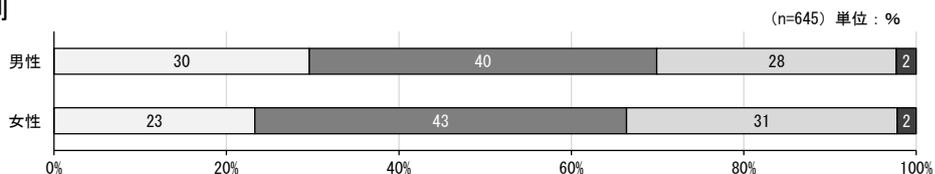
■全体



■年代別



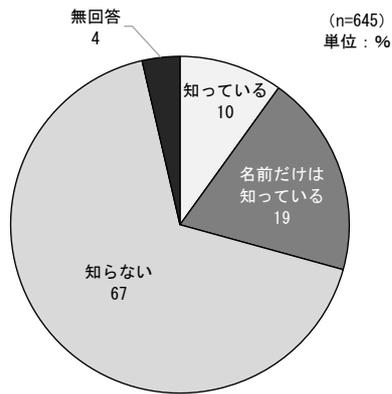
■性別



「知っている」「名前だけは知っている」の割合は約7割

- ・ 民生委員・児童委員・主任児童委員の認知度についてみると、“知っている”（「知っている」＋「名前だけは知っている」）が67%となっている。
- ・ 年代別にみると、『40～50代』『60代以上』で“知っている”（「知っている」＋「名前だけは知っている」）がそれぞれ74%、75%と最も高くなっている。
- ・ 性別にみると、『男性』の“知っている”（「知っている」＋「名前だけは知っている」）が70%、『女性』では同66%で『男性』の方が4ポイント高くなっている。

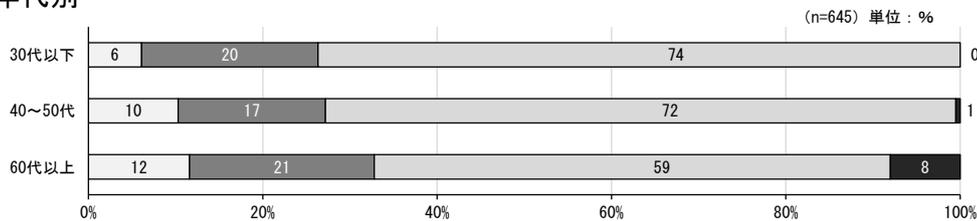
2. 地域福祉コーディネーター



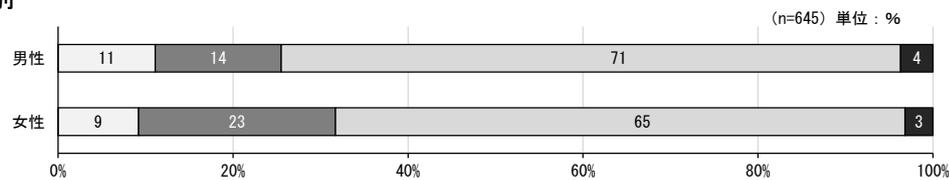
■ 全体



■ 年代別



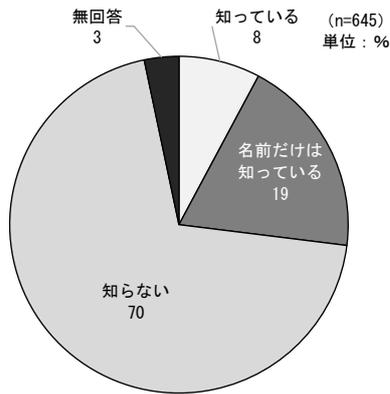
■ 性別



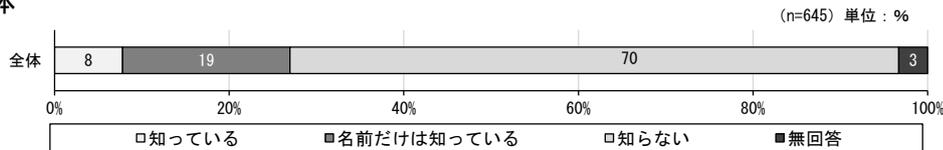
「知らない」の割合は約7割

- ・ 地域福祉コーディネーターの認知度についてみると、「知らない」が67%と6割以上となっている。
- ・ 年代別にみると、『60代以上』の「知っている」が12%と他の年代と比べて最も高くなっている。
- ・ 性別にみると、『男性』の「知らない」が71%、『女性』の「知らない」が65%で『男性』の方が6ポイント高くなっている。

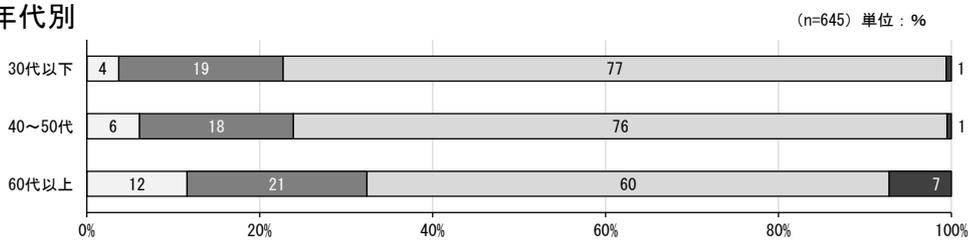
3. 見守り相談室



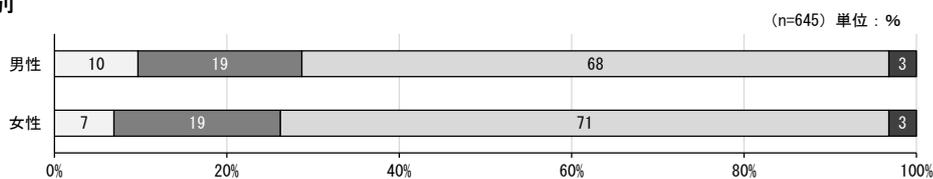
■ 全体



■ 年代別



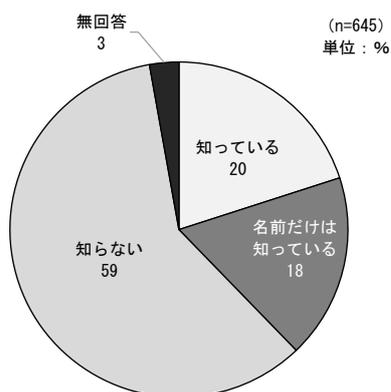
■ 性別



「知らない」の割合は約7割

- ・見守り相談室の認知度についてみると、「知らない」が70%と約7割となっている。
- ・年代別にみると、『60代以上』の「知っている」が12%と他の年代と比べて最も高くなっている。
- ・性別にみると、『男性』の「知らない」が68%、『女性』の「知らない」が71%と『女性』の方が3ポイント高くなっている。

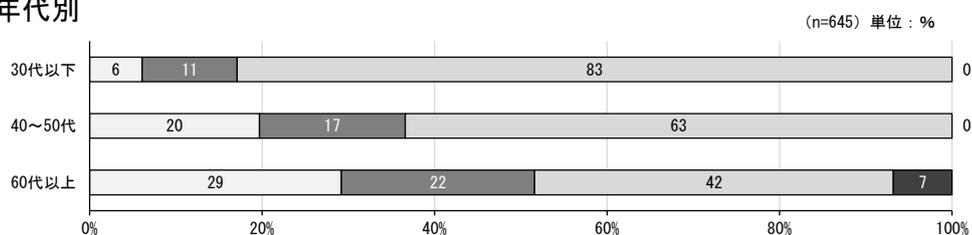
4. 地域包括支援センター 総合相談窓口(ブランチ)



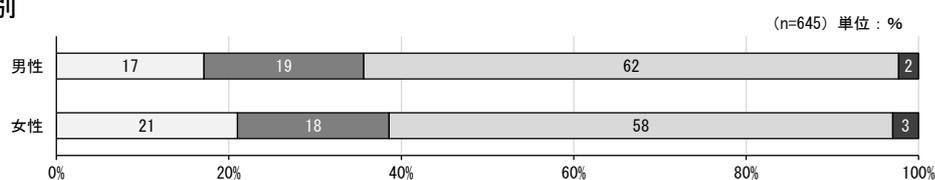
■ 全体



■ 年代別



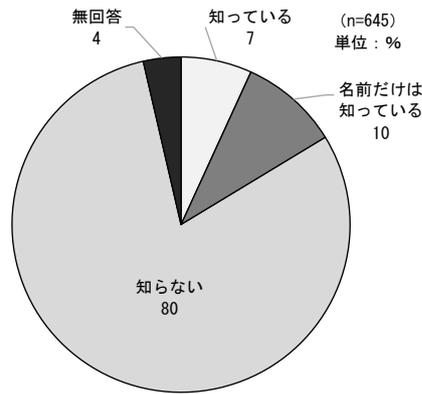
■ 性別



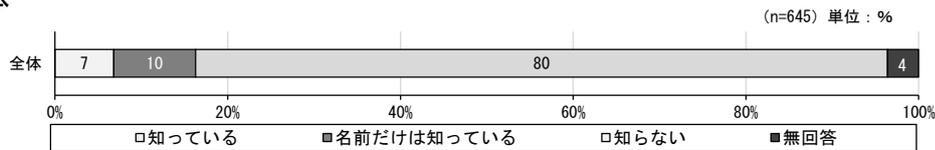
「知らない」の割合は約6割

- ・地域包括支援センター総合相談窓口(ブランチ)の認知度についてみると、「知らない」が59%と半数以上となっている。
- ・年代別にみると、『60代以上』の「知っている」が29%と他の年代と比べて最も高くなっている。
- ・性別にみると、『男性』の「知らない」が62%、『女性』の「知らない」が58%で『男性』の方が4ポイント高くなっている。

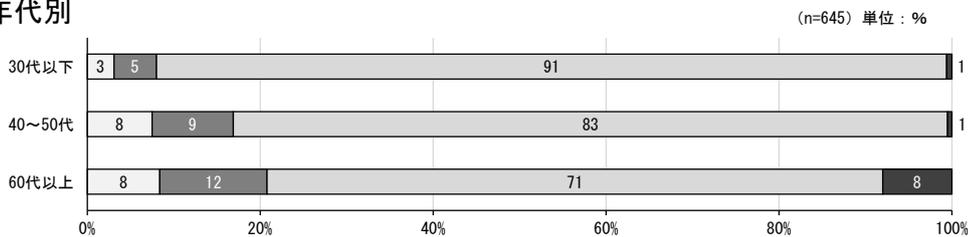
5. 都島オレンジチーム（認知症初期集中支援チーム）



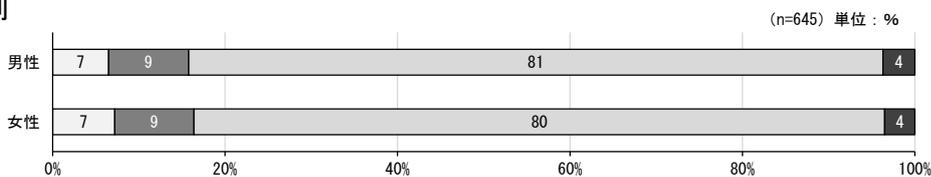
■ 全体



■ 年代別



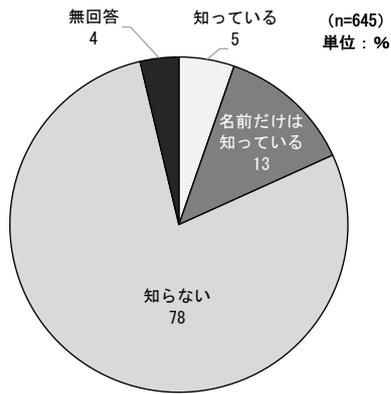
■ 性別



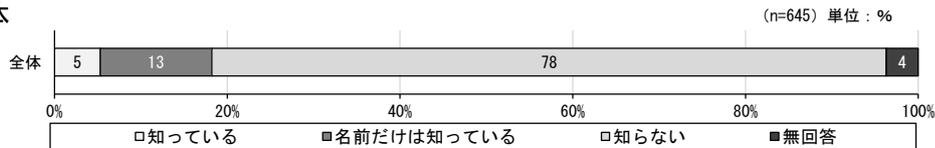
「知らない」の割合は約8割

- ・ 都島オレンジチーム（認知症初期集中支援チーム）の認知度についてみると、「知らない」が80%と約8割となっている。
- ・ 年代別にみると、『60代以上』の「知っている」が8%と他の年代と比べて最も高くなっている。
- ・ 性別にみると、『男性』の「知らない」が81%、『女性』の「知らない」が80%とほぼ同率になっている。

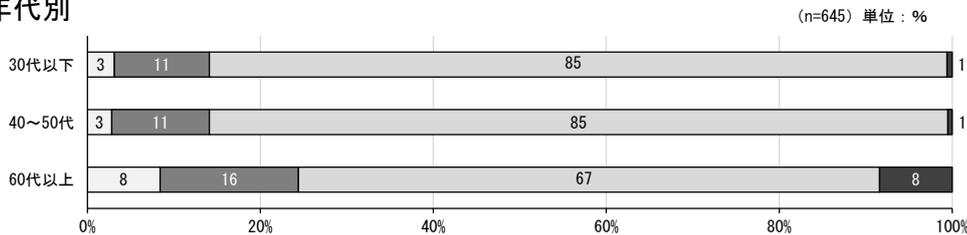
6. 障がい者基幹相談支援センター



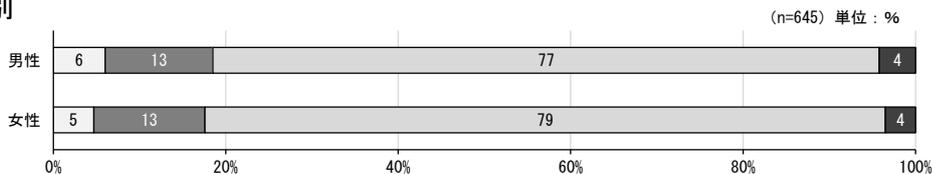
■ 全体



■ 年代別



■ 性別

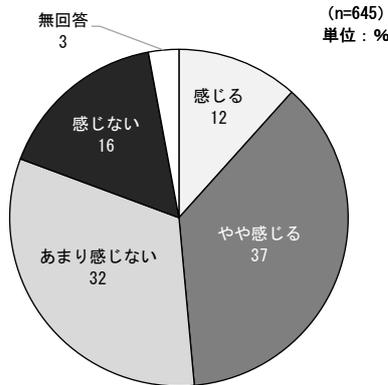


「知らない」の割合は約8割

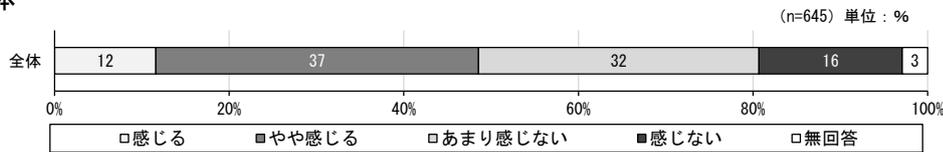
- ・障がい者基幹相談支援センターの認知度についてみると、「知らない」が78%と7割以上となっている。
- ・年代別にみると、『60代以上』の「知っている」が8%と他の年代と比べて最も高くなっている。
- ・性別にみると、『男性』の「知っている」が6%、『女性』の「知っている」が5%で『男性』の方が1ポイント高くなっている。

問14 民生委員等の地域の見守りがあることによって、高齢者や障がい者等の方が安心して暮らし続けることができると感じますか。(1つだけ選んでください)

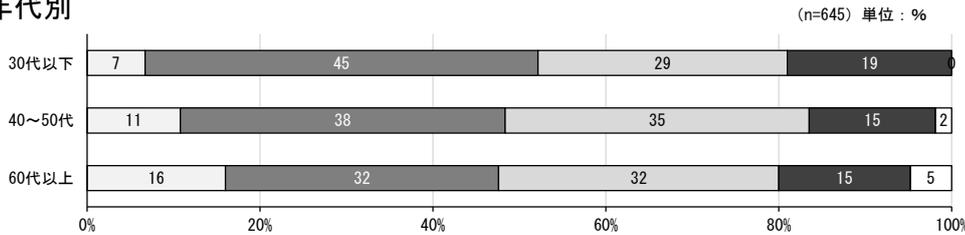
●民生委員等の見守りで高齢者等が安心して暮らし続けることができるかの意識
(単数回答)



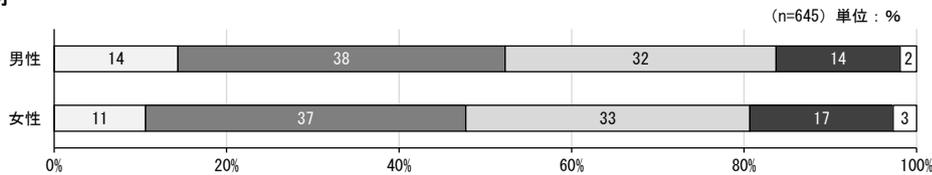
■全体



■年代別



■性別



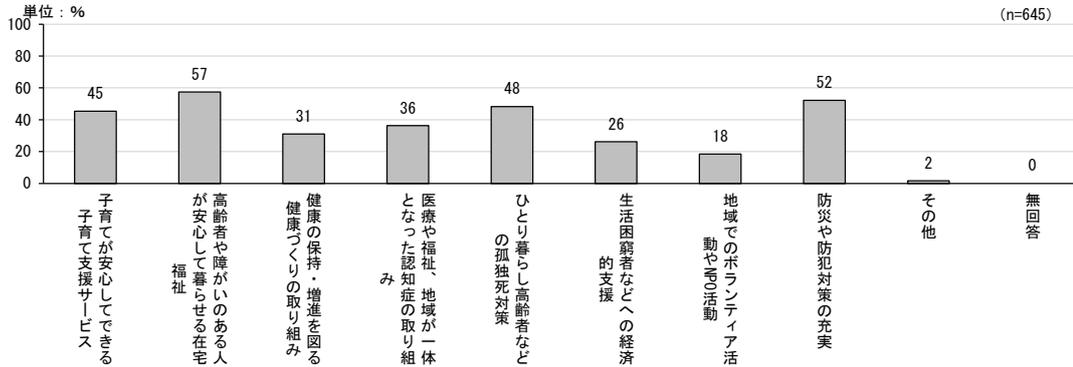
「感じる」「やや感じる」の割合は約半数

- ・民生委員等の見守りで高齢者等が安心して暮らし続けることができるかの意識についてみると、“感じる”（「感じる」＋「やや感じる」）が49%と約半数となっている。
- ・年代別にみると、『30代以下』の“感じる”（「感じる」＋「やや感じる」）が52%と他の年代と比べて最も高くなっている。
- ・性別みると、『男性』の“感じる”（「感じる」＋「やや感じる」）が52%、『女性』のそれが48%と『男性』の方が4ポイント高くなっている。

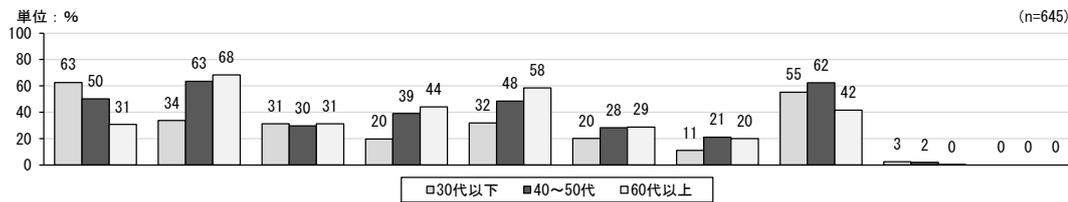
問15 大阪市や都島区の福祉の取り組みの中で、今後特に取り組むべきと思われるものは何ですか。（いくつでも選んでください）

●大阪市や都島区の福祉の取り組みで特に取り組むべきもの（複数回答）

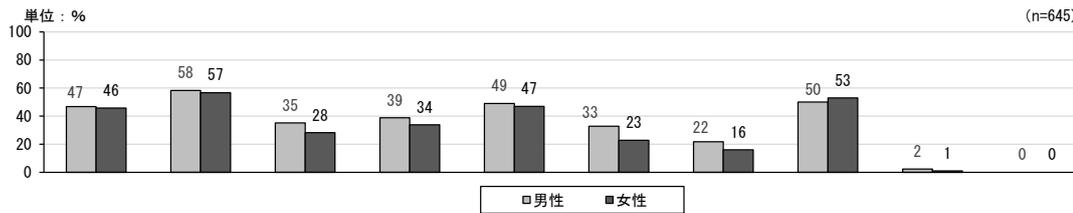
■全体



■年代別



■性別



「高齢者や障がいのある人が安心して暮らせる在宅福祉」の割合が最も高く約6割

- 大阪市や都島区の福祉の取り組みで特に取り組むべきものについてみると、「高齢者や障がいのある人が安心して暮らせる在宅福祉」が57%と最も高く、次いで「防災や防犯対策の充実」が52%、「ひとり暮らし高齢者などの孤独死対策」が48%の順となっている。
- 年代別にみると、『30代以下』では「子育てが安心してできる子育て支援サービス」が63%、『40~50代』と『60代以上』では「高齢者や障がいのある人が安心して暮らせる在宅福祉」がそれぞれ63%、68%と最も高くなっている。
- 性別にみると、『男性』『女性』とも「高齢者や障がいのある人が安心して暮らせる在宅福祉」がそれぞれ58%、57%と最も高くなっている。

3-6. 自由意見

①子育て・教育関係について（12件）

先日、仕事に復帰しようとしたところ、保育園に入れませんでした。6ヶ月の子どもがおります。また、一時保育も御幸保育園は週1回（以下）内代まつのはなは月2、3回の利用と制限がありました。もっと、子供を預けるサービスに力を入れて下さい。

都島区には子育てサポートしてくれる広場がいくつかあり、助かっています。区がやっていたり、法人がやっていたり形態が異なると思いますが、ネットで検索した時に利用方法や日時等、少しわかりにくい感じがしたので、もう少し分かりやすくネットで情報が出来たら、より多くの人利用しやすいかなと感じました。

子育てプラザが近くとても利用しやすくプラザのスタッフもいつも親切に対応して頂きありがたく思っています。

子育てがもっと充実できる様な支援を厚くしてほしい。収入の少ない家庭の子どもと支援、教育費の援助（学費など）、住宅の賃貸費の援助、コロナについての検査の充実。

保育園等、子育てのしやすい街。

母子手帳交付などの窓口と児童手当申請等の窓口が違う（場所が違う）のがややこしいです。出産後、母乳育児を推進するなら、助産師のケアを受けられるクーポンを何回分か配布するなどしてほしい。今のコロナ禍だと産後とても孤独感があり、すごくストレスがたまりまます。（私は3月に3人目を出産しましたが上の子たちの休校、園が重なり毎日とても辛かったです。）

子どもが幼い時はトモノス、のびのび子ども会で大変お世話になり、ママ友もできたり子どもも外で遊ぶ機会が増え友達と遊ぶ（コミュニケーション？）楽しさを学べたを思います。一人っ子のため友達ができ、たいへんありがたかったです。子どもが大きくなると親は仕事に追われて又、マンション暮らしで地域の回覧板がなく何をしているのかさっぱりわからず、近所づき合いはほとんどないです。私は恵まれ友人が何人かいるので今のところ問題解決は出来ていますが周りに相談する人がいなければ不安であったり、引きこもりになっていても気がつかないと思います。お年寄りが仕事を引退してもボランティアなどでつながりをたやさず生き生きとした生活を願っています。

上記にも記載した通り、友渚小中の児童、生徒数が増えることで行事や子ども達の他校が経験していることがなかなか充実して受けられていないことを感じる。例えば、人数が多いが故の美術、書道、図工の際の筆洗いは家で洗うなど。洗い方を学ぶのも教育の一環だと思う。人数の割に校舎の大きさが小さいなど。教育の充実を切に願う。

いろいろ活動されているんだろうとは思いますが、あまりよくわかりません。子育てのことなどでも、もっと気軽に相談できる場所があるとありがたいと思います。人は多いですが、あまりつながりは感じられないかなと思います。

児童手当とか子ども手当とかややこしい。申請を求むる割には「収入が多いから手当でません」と通達くるのもいい加減やめてほしい。支援してますよってお知らせするけど結局、支援してくれないならほっといてほしいです。

子育て時代はおもちゃライブラリーやサロン等いろいろと助けて頂きとても助かりました。今障害のある末っ子も特例子会社へ就職し日々平穩にすごさせて頂いております。

今の人は赤ちゃんのための子育てサロン等行かない人がほとんどです。ボランティアや園庭開放ならいいのですが税金など使ってるならいらないかなと思いました。

②生活支援・福祉について（9件）

年齢のこともあり、地域活動の対してお任せしていたが少し周りの環境を考え参加した方が良いのかと思っています。自分も高齢者であり認知の心配で一人暮らしの心配（友人が風呂で亡くなったり）骨折の心配とマンション住人と話題に上がっております。

路上生活者の生活支援先が分からない。24時間連絡ができるような連絡先を多くの人に周知して欲しい。コロナで失職者が増える中、外国人も路上生活者となってしまった方々がおられるようです。役所は平日5時までしか電話できる状況にありません。これから冬本番になります。助かる命を助けたいですし、助けて欲しいです。

2人の子どもが障がいを持っているが、都島に住んでいて良かったと思う点は何一つない。特に18歳過ぎたらどこにも相談できないのはとても困る。

引きこもり、ニートの人々の支援の充実をさらにお願したい！

低所得者の医療のバックが遅すぎると思います。主人は以前、肝臓ガンの手術を受け、その後後遺症でたくさんの薬を飲んでいきます。医療費のバックが遅すぎます。早く処理できるように改善してほしいと思います。よろしくお願いします。
何でも問合せる所、区役所保健福祉課がわかって安心しました。色々な窓口等、一般の人は不勉強なのですが認識が低いので機会がある時、繰返し教えて欲しいと思います。
高齢者、障がい者、独居老人の方たちで大阪市や都島区での助成や取り組みを知らない方が多すぎる。手続きができない方もどんな取り組みをしても本当に利用すべき方達が利用できないようでは、税金のムダづかいにしかならない。都島区は特に生活保護者が多いといわれているが本当に必要なのに利用できない人。必要ないのにダラダラ利用している人が他の区よりも多すぎると思う。もっと税金の使い道を活かすためにんも選別方法の見直しが必要だと思う。
諸事情により地域総括支援センターに相談し、対応して貰おうとしたが連絡も遅く、また本人が不在であったので手紙をポストに入れるだけで終わり本人から連絡も無く、連絡が取れないので何も出来ないとの事で何の役にも立たなかった。何の為に地域総括支援センターがあるのか理解出来ない
小学生の障害児の親です。都島区にある、放課後デイサービスなどの事業所のまとまった資料やサイトなどあればいいなと感じます。それぞれの事業所の名前、住所、連絡先、特色、力を入れているところなど。わたしが代わりにまとめて作りたいほど、あれば便利だと感じます。

③地域活動・地域コミュニティについて（14件）
都島に来て2年マンション住んであまり知りませんが格安シティーマンションたくさん建っています。くすのき会、朝9時～ラジオ体操に参加してます。体操後、色々な話を話し合っただけで交流深めております。たくさん市内にこのような所がある事嬉しく思います。区政についてこれから勉強していきます。
”まつり”を催す意味は様々あるとは思いますが税金を使ってまで行う必要はあるのでしょうか。コロナ禍を機に止める勇気を期待します。区役所のスタッフの方々対応が素晴らしく心温まります。
マンションが町内会に属していない。地域の情報は「広報みやこじま」誌、区民だよりしかありません。隣に住んでいる方とも数年に1度しか顔を合わせることもなく自らが高齢になり一人暮らしをすることになった際には不安になると思います。
あまり活動していることを感じられない。興味のない人も興味を持てるくらいの活動してほしい。
町内会の役員は住民に割り振るのではなく報酬払い、固定した人に依頼して下さい。住民におしつけないように。
集合住宅暮らしのためか、地域の活動が全く伝わってこない。
高倉町は町内会等の催しもけっこう多いので町内役など務めると色々町内の事は分かりませんが、福祉民生等は分かりません。
小学生や中学生のお母さんのつどいなどあるのもっといいと思います。（一番かわりが難しい時期なのにそのような集まりは見かけた事がありません）
友渕町ですが地域は決まったメンバーだけで運営されており、あまりにも偏った考えのもとでしか活動されておらず、またその事に対してほとんどの住民が興味を持たず、それをいいことにボランティアという名で好き放題している地域振興会を本来の地域住民のための活動に戻すように指導していただきたいです。
平松市長時代に町会の役員をしたことがありますが、地域振興町会（今は変わってるかもしれませんが）は市の上意下達の機関のようで、もっと地域ごとの自立した活動が必要だと感じました。今は中止されているかもしれませんが当時はリバーサイドホテル等での懇親会もあり、全くお金の無駄遣いだと思いました。都島はマンションの新しく開発された地域も多いので、マンション相互の関係づくりも必要かと思っています。
民生委員の人達は本当に活動されているのでしょうか？毎年、人員が変わるのですか？ずっと同じ人ではなく交代して行って欲しいです。お金目当の人もいるのではないのでしょうか？（そういう噂を聞いた事があります）
これからは我々の定年からの生活においての情報をどう集めるか悩み中です。昼間働いているとご近所さんとは疎遠になりがちです。

3年前に、一軒家からマンションに引っ越して、都島区に来ました。自治会の活動が盛んだ地域にいたので、自分自身も積極的にボランティア活動をしていました。マンションでは、近所の交流がなく、地域活動の情報が入りません。何か地域に関わらないといけないと思っています。もっとマンションの掲示板などを使って、地域活動のお誘い、お手伝い等を発信して頂けたら良いかもしれません。また、マンションの管理組合との連携で、議事録に記載するのも、良いかもしれません。

その方の身になって話しを聞いてもらいたいです 気楽に話せるところが在ればと思います

④自転車・喫煙・マナー等について（7件）

京橋商店街の自転車走行なんとかならんのか？（猛スピード）で走る。朝は人通りも少ないのであまり気にならないが夕方のラッシュ時18時～19時位迄の1時間位は自転車の人は押して歩くとかして欲しい。後ろからスピード出して追い抜いて行かれるとヒヤッとすることがよくある。今はウーバーイーツとかで出前の仕事をしてる人達もわりとスピード出して商店街を往来してるのがなんとかならんもんか？取り締まることは出来んの！？

歩きたばこが子育てをしていて嫌です。厳しく罰してほしいです。

歩道にある自転車の撤去。白杖をもっての通行しにくい！

最近暗くなるのが早く無灯火の自転車がかんりのスピードで走ってくる。見ていてヒヤリとする時がある。自転車の前の明かりの位置が前下がりになっていたり逆に上の方を向いていたり自分の自転車の手入れくらい、自分で手入れしてほしいです。

歩行困難になって歩行車でスーパーに行っています。道路が悪い所があると、こけそうになるので気を付けています。自転車に乗っている人がスピードを出して走るので怖い思いを度々します。安全にどこでもある気が出来ることを望みます。

自転車の不法駐輪をもっと取り締まってほしい（特に商店街や細い路地）

路上喫煙がまだ絶えません。自転車のマナーがよくありません。

⑤防災・防犯について（6件）

いつも都島のためにありがとうございます。都島区には液状化しやすいエリアが多い点に不安を感じています。淀川もありますので災害対策など区民がより意識できるようにリードして頂けたら幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

ネコの餌やりを区民センターの横で20:00～20:30の間にやってる人々がいます。取り締まりをお願いします。自転車で通ると急にネコが飛び出してきて怖いです。餌をやってるからだと思います。外灯が少ない。暗すぎ。

夜小学生位の子ども達の声が聞こえてきます。見回り、もしくは家に帰るよう呼びかけをしてほしいです。

夜でも安心して歩ける街。

よくパトカーの音が聞こえて治安が悪いのか心配になる。都島区に高台など防災対策をきちんとして安心できるようにしてほしい。

見やすく、詳しいハザード・マップがほしいです。

⑥施設や公園の整備・利用について（11件）

地域の公園、河川敷などランニングコースやサイクリングコースを作ってははどうでしょう？地域住民の健康のためお願いします。

銭湯が少なくなり私は冬に利用してるけれど1人暮らしの人が多いので大変楽しいコミュニティの場になっているので小さくてもいいからもっと作ってほしいです。案外老人同志助けあってますよ。〇〇さん最近顔見ないけれど大丈夫かなとかのぞきに行ってますよ。料金は少し高くてもいいと思います。

図書館を充実させて欲しい。英字新聞も一紙くらいは整備して欲しいし、外国文学をもう少し充実させて欲しい。自治体の規模からするとあまりにも図書館はひどい。

老人施設や図書館等もう少しきれいにして頂けないものでしょうか。

子どもがボールで遊べる公園があったらいいな。森のような緑地が近くにあったらいいな。

駐輪場の無料の時間帯のばしてほしい。

都島スポーツセンターの子ども向けクラスがもっと種類が増えたらいいと思います。（中学生向けなど）図書館が赤川方面からだやや遠いので移動図書館の利用時間がもう少し長かったら子ども達が下校後、立ち寄りやすいのではと思います。駅前の駐輪場の増設。公園の整備（たまに荒れている公園を見かけるので整備されていたら広場だけでも子ども達はのびのび遊ぶので）

子供が遊べる場所を増やしてほしい
小さい子だけじゃなく、小学校高学年や中学生でも遊べる場所があるといいと思います。私の子供は球技スポーツをしています、練習できる場所も遠く限られているのでかわいそうだなと感じます。
土曜日、日曜日の桜ノ宮ビーチはバレーボールをする人たちで、ネットを3つも張って占有していて、マスクもしないで、ペットボトルもほったらかしでマナーが悪い。無料で使用しているなら注意してほしい
世帯的に対象又は必要な事を個別に知れる仕組みをつくってほしい 図書館をもっと、充実させてほしい

⑦鉄道・地下鉄・バスについて（3件）
立派なJRの駅が出来たのに意外と高齢者の利用が少ない。乗り継ぎにわかりやすい地図があればと思う。乗ると大変便利なので乗り継ぎ方がわかりにくい。
都島区は高齢者が多いので昔にあった赤バスの様な小回りのきくバスを復活させて、京橋行など作って欲しい。天神橋六丁目行も復活して欲しい（北区ではあります）
都島区毛馬町在住です。このあたりはバスが少なく、そのバスも非常に混んでいて不快です。地下鉄がない分、バスの本数、路線を充実して頂けると嬉しいです。切に望みます。

⑧住環境・市街地環境について（20件）
ベルパークに住んでいますが、とっても安全、安心感があり住みやすいです。
京橋は京阪モール周辺以外の空気が独特、昭和からの伝統や背景も多々あることは承知しているが、もっとキレイにした方がいい。心理学で割れた窓理論というのがあります。京橋に応用すると雑然とした街では雑然とした状況が生まれます。キレイにすれば子どもを育てる世代などが集まってくれるのではないのでしょうか。とくに京橋商店街中間地点、南～一号线～京橋駅はキレイにした方がいいと思います。今のままでは雑然とした状況に雑然としたものしか集まらない京橋付近で子育てをしたいとは思いません。枚方の大学院に通学するようになってから、外から京橋界隈をみるようになって見え方が変わってきました。
都島区に住んでいる知人の縁でこの区に住所を持つようになりました。病院、銀行、スーパー、コンビニ等近くに生活に必要な所があり、とても住みやすいです。自分の居住付近はとても便利ですが、少し不便を感じている方（住所）もいるようです。まんべんなく活気ある区になったらいいなと感じています。※来年は区民まつりの開催を願っています！とても楽しいイベントです。どうぞよろしくお願い致します！
高齢で都島に来ました。生まれは城東区の野江です。若い頃は高知県、海外に住んでいました。今は静かに暮らしたいです。以前知っていた都島に来ました。小学生時の友人もいたので…住みよい都島でありますように。
高齢者社会の中、若い人とのバランスの取れた町づくりがないと町がさびれると思います。又、老人の医療や生活についてより木目細かい対策にバランスが必要かと思ます（片寄らない町づくり）
都島駅前の商店街を再開し区民にとって魅力ある街作りをしてほしい。例えば小さいお子様を駅前の保育園に預け仕事に行く場合、駅前に駐輪場、買物施設、保育園施設が固まっていれば使いやすいのではないのでしょうか。
都島に住みたくなる様な魅力ある区になってほしいです。都島に他の地域から人が集まる所になってほしいです。ビーチバレーも何度か見に行きましたが見に来る人が少ないです。有名な選手が来ているのに。住民投票で大阪市都島区が残ったので都島をもっと元気にして下さい。
私は今、毛馬の公団に住んでいます。最近マンション内のイスが全てなくなりました。たしかに朝早くから来てうるさいとの声でなくなりました。この場所に住んでいる年寄り少し位でベンチで体操がしたいと思っても出来ません。いかがでしょうか。この場所はお年寄りが多くおられます。朝（35棟）前で体操でもしてはどうでしょうか。少しは健康の為、孤独死の取り組みなるのではないのでしょうか。
場所によって異なるが今住む地域は閉鎖的で陰湿である。セコセコしてる。旭区や北区の様に明るく元気な町にしてほしい。最近駅も出来たので若い人がもっと住みやすい町づくりにしてほしい。役所が遠すぎる。銀行が少ない。

結婚を機に10年位都島に住んでいます。徒歩、自転車で行ける範囲に駅がたくさんあり、スーパー、コンビニも大きな病院もあってとても便利です。ただ、子どもがいないので地域のことがわかっていません。（配布いただいている区報は目をとおしてですが）このアンケート（13）で色々あるのだと知りました。
都島区に住んで10年になります。緑も多く、自然にあふれた町でとても気に入っています。子どもも生まれ、これからは安心安全な町であるよう願っています。いつも本当にありがとうございます。これからは、どうぞよろしく願います。私もいつか都島で事業をし、都島の区民の皆様喜んでもらえるよう日々、仕事に子育てに頑張ろうと思っています。
大川沿は自然や緑が豊かですが、まだ区内として少ないです。区の花コスモスや街路樹をたくさん増やして下さい。
横断歩道や信号をつけてほしい所がたくさんあります。
住まっている地区は緑も多く、静かでとても住みやすいです。今は仕事を持ち、健康にも不安がないので区の事業をあまり存じず利用もしておりませんが、70歳以降は健康面、経済面で支えになってもらえるような情報やサービスの仕組み、利用しやすさなど整えていただけると心強いです。
子ども達は成人後、他県に住み自分は1人でマンション暮らしで仕事を持っているのでご近所との交流は殆どないですが住み心地はこれまでで一番良いと感じています。終生住み続けたいと望んでいます。
都島リバーシティのUR賃貸が多いので分譲も増やしてほしい。
8月末に都島区に引越してきましたが、とても暮らしやすく、交通の便もとても良いです。長く暮らしたいと思っています。
都島区に転居して、落ち着いた住環境がとても気に入りました。転居前は、拘置所があるので治安はどうか、少し不安がありましたが、住んでみると日頃の警察の巡回が他所よりも多いように感じ、逆に安心できました。落ち着いた環境なので、子どもの通う学校も落ち着いています。中学の先生方も良い方ばかりで、本当に都島区に来て良かったと思います。
一昨年に西区から引越してきたのですが、都島区は全体的に歩道が狭く感じます。また、人の集まりやすい場所に迷惑駐輪が多く、より歩道の狭さが浮き出てしまっているような印象を受けます。
子育てがしやすく医療の場が充実しているので、いつまでも住みたい区です。

⑨市政・区政について（15件）

松井大阪市長が進めようとしている「総合区」には大反対です。都島区としても阻止するように頑張ってください。
市営住宅って年収制限があると思うのですがなぜ高収入の人住み続けられるのですか？疑問、家族4人社会人なのにずっと住み続けているなぜ？疑問、年収をごまかしている人または、一緒に住んでいるのに住所を他に移してる人いわゆる「不正」徹底調査して下さい。私達は高い家賃と生活しています。
手続きは提出書類のペーパーレス、オンライン化、郵送や窓口手続きではないシステム化を要望します。
役所での対応はいつも丁寧ですし、長年住んでいる者にとっては住みやすい地域だと感じています。
何事にも優しく接して頂きたいと思います。高齢者には特によろしくお願い致します。いつも何事にも説明が足りません。皆様の区政を思います。
市政に物を言える区政として活躍して下さい。都島区はとても良い区だと思いますし、区役所も良い感じです。市政に潰されないように頑張ってください。
区役所で犬、猫の里親譲渡会を開催してほしい。
区役所が行っている事がよくわからない。もう少し、発信して欲しい（情報も）
野良猫の保護活動に関心を持っています。NTRの活動は個人で活動されている方がほとんどです。近所の方に理解されていない事も多く、苦労しながら活動してるかと思われます。餌やり問題など批難される事ばかり取り沙汰されていますが小さな命を守る活動をもっと支えていただけないでしょうか。
良くしようとしていただいているのを感じます。環境事業センターへお電話した時やゴミ収集の方々、子育て支援室の方、皆さんに良くしていただいて都島区、大阪に来て良かったと思っています。今後もよろしく願います。

地域の活性化を継続的に図るためには永続的な世代交代が実現することが必要である為、まずは子育てが安心してできる区行政の実現と次に、高齢者に対する福祉の充実に努めていただきたい。

区政とは関係ないかわかりませんが…まず都構想が否決されたのは変革の大チャンス逃した。せっかく良い方向へ進んでいる大阪だったのにフェアじゃない手を使ってでも阻止する大人達は恥ずかしい。都島区は大きいマンションも多く若い人も多く住む。市内でもトップレベルの良い区だと思って住んでいます。

1、地域活動協議会、まちづくり協議会等に役所から補助金が出ていますが決算報告はどうなっています。(区政に報告書がありますか)又、特定の人が長いこと役をやっておられますが選定はどうなっています。募集されていきますか。されていなかったらおかしいですね。

子どもの事で相談しようとした時、区役所と別館とかあって違いがわからないしどっちでも良い(というかどちらも同じ事してる?)みたいだがその2つが共有してないのは問題だと思う。これは都島区だけと聞いた。

もう一度、賛成を増やす政策を打って行き、もう一度大阪都構想にチャレンジしてもらいたいです。

⑩職員・窓口対応について(6件)

主人が障がいについて聞きに行ったのですがあまり親切には教えてくれなかったと言っていました。言語障害もあり相手の方も内容が判りかねたのかもしれませんが。(術後に血栓が脳に飛び、半身不随になり何か助けて頂ける事はないか行ったようです)

サービス、相談が受けやすい窓口があってほしい。

又、意見があり保健所等にも行ったけれど真剣にとりあってくれている感じがしない。

都島区は暮らしやすい所だと思います。いつまでも安心安全で暮らしやすい所であってほしい。他区に住んだことがあります区役所の職員の対応に嫌な思いをしたことがあります。都島区の区役所は区民にとって温かい、優しい対応を心掛けていただきたい。

窓口業務や催し等、土曜日、日曜日に利用しやすくしてほしいと思います。

子どもが不登校気味で悩んだ時に、学校から区役所の子育て支援室に繋いで頂き、1番大変な時期に専門職の方に相談にのって頂けたことが本当に有難かったです。(支えて頂いたお陰で、今は落ち着いて学校に通っています)。区役所の1階、2階、3階と、様々な職員の方とやり取りしてきましたが、嫌な思いをしたことが1度もありません。皆さん丁寧で、利用者の意図を汲み取った上で、いろいろと教えて下さいます。温かい雰囲気になります。たくさん職員がいるのにどの方も丁寧、というのはすごいことです。安心して住めて、住み続けたいと思える素敵な都島区。区役所職員の方々の日々の丁寧なお仕事や、区民への想いのお陰かと思えます。これからもたくさんの住民が心地よく過ごせる都島区にして下さい。

⑪広報について(9件)

自分は地元大阪都島の歴史に興味があるので「広報みやこじま」の紙面にある「みやこじまナビ」が好きで愛読していました。今までの内容をまとめて発行してほしいです。

高齢になりますと家にこもりがちです。miyakojimaだより、回覧板で地域の様子を感じています。

何分高年齢の為、諸行事には行きも参加も出来ませんが、「ぬくもり通信」「MIYAKOJIMA」等の都島の広報誌は愛読してます。地域の益々の交流に期待します。頑張ってください。

賃貸マンションに一人暮らしで高齢になってきたので外部との情報が少なく不安を感じることもある。広報版が活用されていないような気がします。広報誌が「みやこじま」は毎月楽しみに見えます。

周りの区に比べて都島区についての特徴(歴史、名物など)が少なく感じるので、都島区を語る上で欠かせない話題をもっと取り上げてほしい。

区民だよりの中身が募集ばかりで内容が活動の様子が少ないです。目に止まるような載せ方をお願いします。

都島区で京橋よりに住んでいる方々は引越しをして何年と住んでる方が多いと思います。町に関わる事や知人がいないのでサービス事業があっても知らない方が多い中、悩んでいる方々も多いと思います。もっと大きく宣伝する必要があると思います。

もう実行されているかもしれませんが対象年齢に達したら利用できる福祉、サービス、施設がわかりやすくネットだけでなくチラシ冊子等でも知らせてもらえたらと思います。毎月、月初に配布されている都島だより？でももっと紹介してほしいと思っています。
色々な相談窓口や高齢者用、児童用、地域活動など、どこに相談するなどもっとわかりやすくして欲しい。児童用、高齢者用、地域活動用、冊子に分けて一家に一冊配ってください。
広報みやこじまの裏表紙にあった都島の歴史の特集が、都島の愛着や興味につながり、とても良かったです。

⑫アンケートについて（3件）

今回のアンケートのQRコードが読み取れませんでした。
2、最後にアンケートと違う、年齢、住所等を聞くのは疑問を感じます。
上記アンケートには子供がいない、単身者向けの質問ではない。日頃の生活の中で何らかの恩恵をうけている、行政が暮らしに関わっているというイメージがない。

⑬その他（11件）

特になし
今のところすべてに充実していると思う
いろんな活動しているのは知っていましたが、反対に名称までは知らなかった。高齢者の者も声かけあって出かけられる場所を広げたい。
特にないです。
特になし
都島区民が安心して暮らせるように頑張ってください。
今回のアンケートで気付かされましたが私個人としては区政など、この都島区に住んでいるから安心・安全やサービスが何があるかなど全く知りませんでした。来年、旭区に引越す予定なので比べてみたいと思います。お役に立てず申し訳ありませんでした。
いつもありがとうございます。
デイサービスに週2回行っているなのでその日は楽しく帰ってくる。
他の日は今はコロナ対策のため外出は出来るだけ控えているので区の催し物には殆ど行かないようにしている。
毛馬桜ノ宮公園、大川に大繁殖した藻が臭うし見た目が大変よろしくないのので全て刈り取ってほしいです。
特になし。

※原則として、ご記入頂いた内容をそのまま反映しています。

【お問合せ先】 都島区役所総務課（政策企画）〒534-8501 都島区中野町 2-16-20
電話：06-6882-9989 ファックス：06-6882-9787